

テーマ

研究者

小椋 弘佳 (米子工業高等専門学校)

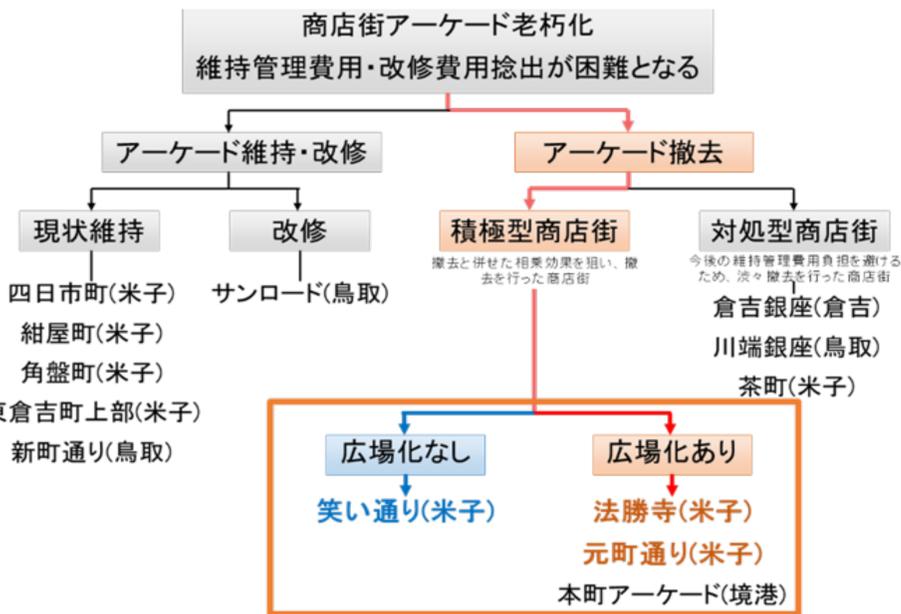
概要

全国的にアーケードの老朽化が進み、整備方針の検討が急がれる中で、アーケード撤去と合わせてコミュニティ道路としての公園化整備に至った県内事例を対象とし、その事業プロセスを解明し改善提案をすること、得られた知見を県外に発信することを目的としている。

本年度は、米子市アーケード撤去商店街のうち、公園化した商店街(法勝寺・元町)と公園化していない商店街(笑い通り)の整備実態と整備前後の利用状況を比較分析した。その知見から公園化のメリットとデメリットを考察した。

研究内容

### 鳥取県内のアーケード商店街の整備分類



3商店街を対象にし、広場化あり商店街となし商店街を比較分析する

### 鳥取県内のアーケード商店街のアーケード撤去、整備、整備後の実態

	広場化あり		広場化なし
	元町通り商店街	法勝寺商店街	笑い通り商店街
アーケード設置年	1959年(昭和34年)	1959年(昭和34年)	1972年(昭和47年)
アーケード撤去年	2013年(平成25年)	2011年(平成23年)	2014年(平成26年)
撤去要因	維持費用増加・耐用年数		
商店街組合名	元町通り商店街振興組合	法勝寺商店会	笑い通り商店街振興組合
撤去の際の主体組織	商店街振興組合	株式会社(株式会社法勝寺町)	商店街振興組合
概略	いずれも、住民が主体となって構成された組織である		
路面整備の選択理由	住民意見を反映した路面の原型復旧 まちづくり推進委員会主催の話し合いによる 住民意見と設計者提案を参考に		時間指定の自動車通行を許可
整備内容の決定者	まちづくり推進委員会		商店街振興組合
概略	整備に当たり、住民の合意形成が課題となった		合意形成はスムーズにおこなわれた
整備内容	アーケード撤去+建物改修		
	公共広場(元町パティオ) 交流センターさん	芝生舗装 善五郎蔵	笑い庵
来場者数	若干増加(ヒアリングより)		変化なし(ヒアリングより)
撤去後に増加した店舗数	5店舗+元町パティオ (全68件のうち9%)	4店舗 (全33件のうち9%)	1店舗 (全47件のうち2%)
整備後のイベント等のソフト面	戸板市 土曜日・歳の市 まちなか音楽祭new! 健康教室new!	戸板市 土曜日・歳の市 夜の戸板市new! ダラズ夜市new!	<del>戸板市</del> 加茂川遊覧船
概略	整備内容決定時の、まちづくり委員会と住民の意見交換などによる「商店街としてのまとまり」を持つことが整備後の取り組みを誘発できる要因である。		
撤去・広場化による利点	維持管理費用軽減・良好な景観の創出 整備主体の団体と住民などの良好な関係を形成しやすい 商店街のにぎわい創出を行いやすい		
撤去・広場化による不満点	日焼け・雨などの天候の影響を受ける 設置物の維持管理を行う必要がある		
ヒアリング先・日時 米子市役所: 2017年9月29日14:30-16:00 中心市街地活性化計画推進室室長 法勝寺商店街: 10月15日14:00-15:10 法勝寺商店会会長 元町通り商店街: 10月19日14:00-15:20 元町通り商店街振興組合会長 笑い通り商店街: 10月29日15:40-17:00 笑い通り商店街振興組合会長			

### 米子市内3商店街と周辺建物の整備状況及び元町通り商店街と法勝寺商店街の整備状況

	笑い通り(総数47)		法勝寺(総数33)		元町通り(総数68)	
商店	12件 25%	10件 30%	18件 26%			
撤去後から増えた商店	1件 2%	3件 9%	6件 9%			
住宅	9件 19%	9件 27%	8件 12%			
空き店舗で居住者のいる建物	4件 8%	4件 12%	14件 20%			
空き店舗で居住者のいない建物	11件 23%	5件 15%	17件 25%			
空き地または駐車場	10件 21%	2件 6%	5件 7%			



応用分野

都市計画・建築計画

連絡先

所属: 米子工業高等専門学校 建築学科 准教授 氏名: 小椋 弘佳  
連絡先: ogura@yonago-k.ac.jp tel. 0859-24-5173